

工事だより

N様邸改修工事

「こどもみらい住宅支援事業」補助金申請対象工事

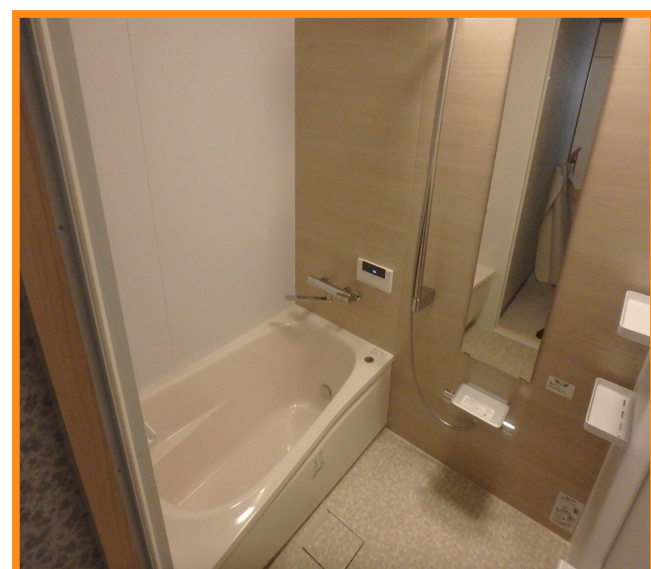
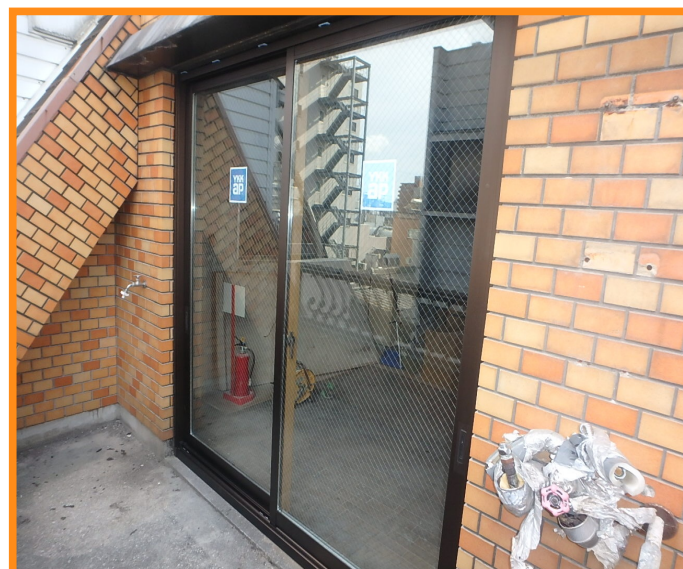
ご家族様所有マンション2部屋を1部屋に改修し、外窓交換、高断熱浴槽・節湯水栓に取替、キッチンの対面化改修、壁紙貼り替え、木製建具工事を行いました。

この工事は、「こどもみらい住宅支援事業」の補助金が活用できる工事があり、お得にリノベーションできました。

【キッチンセットの交換を伴う
対面改修】
壁付けキッチンを対面キッチンに。

【開口部の断熱改修（省エネ）】
外窓2カ所をYKK APマドリモ
断熱窓に交換しました。

【エコ住宅設備の設置】
浴槽を高断熱浴槽に、水栓金具を
節湯水栓に交換しました。



約2か月の工事期間で、解体工事から始まり、設備設置工事・内装工事など順調に進み、無事にお引き渡しことができました。入居後には、奥様より「快適です。」とおっしゃって頂き、工事担当者もうれしかったそうです。

「こどもみらい住宅支援事業」の補助金申請は、期限が延長されており、予算限度額に達するまでは申請が可能です。ご興味がある方は、弊社までお問い合わせ下さい。（TEL：087-861-5470）

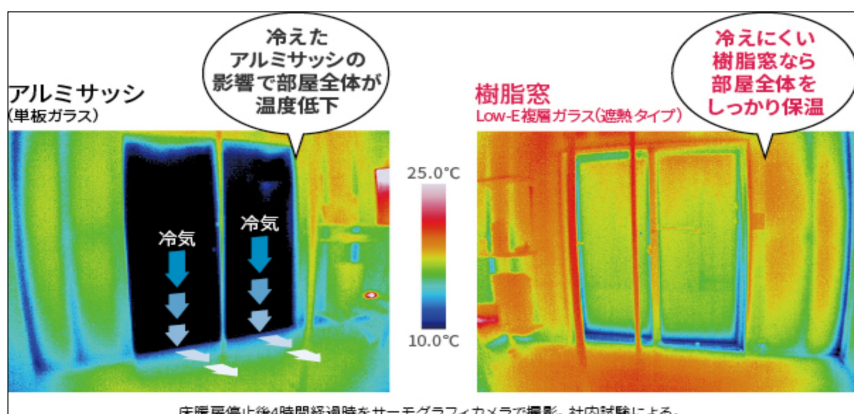


猛暑、酷暑の夏が終わろうとしています。今年のような夏の暑さを来年の夏からは、少しでも和らげることができ、これから寒くなっていく季節を過ごしやすくするために、開口部（窓）の窓交換や内窓設置をおすすめします。開口部（窓）は、熱の出入りが一番多い所です。この開口部（窓）を断熱（遮熱）すると、家の中を快適に過ごすことができます。今回は一例として、YKK APの「マドリモ」をご紹介します。

【窓交換】壁工事不要のカバー工法で、窓をスピード交換。

窓がかわると、部屋全体が暖かく。

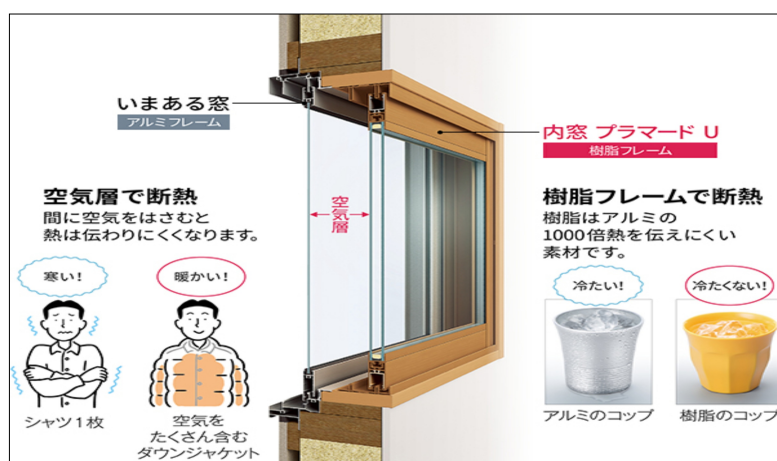
断熱性が低い窓は外の寒さの影響を受けやすく、窓辺がひんやり。熱を伝えにくい樹脂窓にかえれば、冬でも室内側が冷たくなりにくく、部屋全体を暖かく保てます。



【内窓設置】今ある窓に内窓を取り付けて二重窓に。

断熱効果のヒミツは「空気」と「樹脂」。

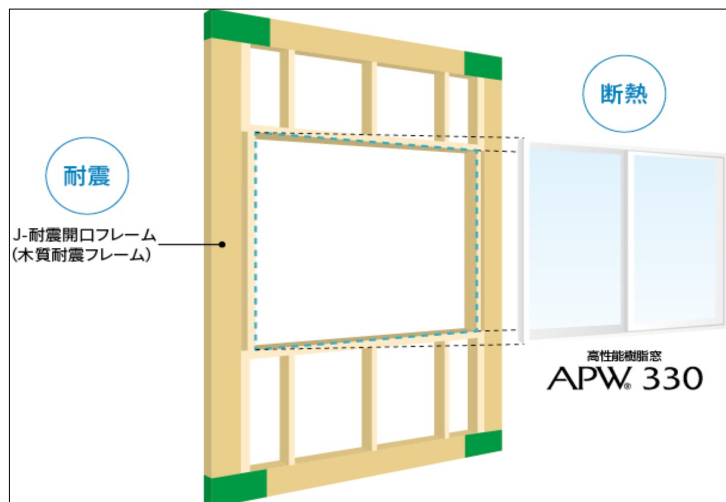
今ある窓と内窓の間に空気層ができることで、冷たい外気の影響を受けにくくなります。熱を伝えにくい樹脂のフレームが、さらに断熱効果を高めます。室内側が冷たくなりにくいので、結露の発生も抑えられます。



【耐震＋断熱】耐震フレームにより、一般的な耐震補強と異なり窓を減らさず耐震補強が可能。同時に、断熱性の高い窓を組み合わせることで窓まわりの断熱化も実現します。

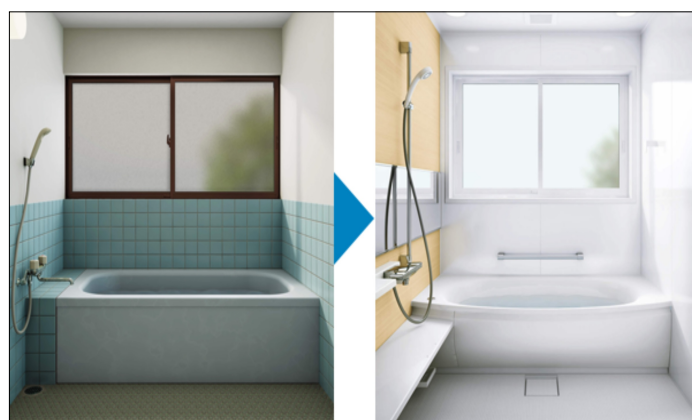
住まいの耐震と断熱を同時に実現。

木質耐震フレームを住宅の躯体内にバランスよく配置することで耐震性能を向上。これに高断熱の窓を組み合わせ、窓まわりの断熱化も同時に実現します。



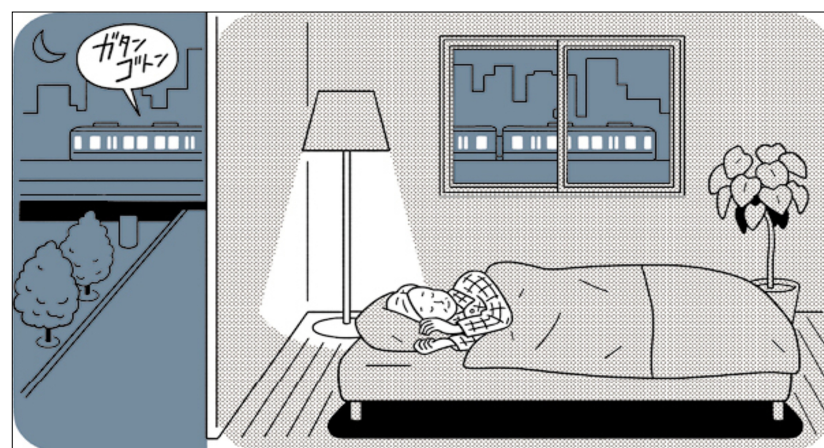
システムバスのリフォームと同時に窓を交換。

システムバスと同時に窓をかえて、空間の印象も一新。浴室リフォームの工程に無理なく組み込めます。ジョイント枠180見付の新設定により、幅広く施工が可能です。



騒音も減って、お部屋が静かに。

外からの音を15 d B 低減。騒音が半分以下に聞こえる防音効果です。（人間の耳は、10 d B 下がれば、音が約半分に減ったように感じられています）。



明るさも眺望性もそのままに耐震リフォーム。

窓などの開口部は、耐震上の弱点。外付けフレームで補強するフレームⅡなら、窓からの眺望や採光、通風といった快適性はそのままに、耐震性能を向上させることができます。



定期的に家のメンテナンスを

屋根

家を長く保つために、定期的なメンテナンスをご検討下さい。
 今回は「屋根」について。基本は、10年毎の定期メンテナンスをお願い致します。
 築30年前後には、下記のような大規模修繕をしておくとお安いです。（ケイミューHPより）

	塗り替え	重ね貼り おすすめ!	重ね葺き おすすめ!	葺き替え おすすめ!
対象屋根材	セメント瓦 / スレート屋根材 / 金属屋根材	スレート屋根材	スレート屋根材	陶器瓦 / セメント瓦 スレート屋根材 / 金属屋根材
工法説明	- 既存の屋根材の表面を再塗装する工法です。 1 既存の屋根材を調整・補修。 2 リペイント塗料で塗装し、完成。	- 既存の屋根材の上に新しい屋根材を接着する工法です。 1 既存の屋根材を洗浄・確認。 2 新しい屋根材を接着して完成。	- 既存の屋根材の上に新しい屋根材を施工する工法です。 1 既存の屋根材を調整。 2 新しい下葺材・屋根材を施工して、完成。	- 既存の屋根材を撤去し、新しい屋根材を施工する工法です。 1 既存の屋根材を撤去。 2 下地を調整後、新しい下葺材・屋根材を施工して、完成。
工期	約2週間	約1～1.5週間	約1～1.5週間	約1.5～2週間
メリット	- お好みの色に変えられる。 - 費用が抑えられる。	- 金属ならではのシャープな仕上がりにできる。 - 重ね葺きや葺き替えに比べ、費用が抑えられる。 - 遮熱性の向上が期待できる。	- 屋根を重ねることによる遮熱性・遮音性の向上が期待できる。 - お好みの色・デザインの屋根材を選べる。 - 防水性を改善できる。	- 軽い屋根材に葺き替えることで建物にかかる負荷(重量)を軽減できる。 - 屋根下地(野地板)の点検・調整ができる。 - お好みの色・デザインの屋根材を選べる。 - 防水性を改善できる。
デメリット	- 塗り替えにより既存のデザインが失われる場合がある。 - 数年後に再塗装・補修等が必要な場合がある。 - 屋根下地(野地板)の点検・調整はできない。	- 屋根下地(野地板)の点検・調整はできない。 - 防水性は改善できない。	- 総重量が増加し、建物にかかる負荷(重量)が増加する。 - 屋根下地(野地板)の点検・調整はできない。	- 廃材が多く発生する。 「塗り替え」「重ね葺き」と比べて、費用がかかる。

上記、定期メンテナンスや大規模修繕をご検討の際は、弊社にご相談下さい。（TEL：087-861-5470）

なすの肉味噌のせ



材料（2人分）

- なす(中) 2個
- サラダ油 大さじ2
- 鶏ひき肉 80g
- みそ・砂糖 各大さじ1と1/2
- 酒・水 各大さじ1
- いり黒ごま 少々



作り方

- ① なすはへたを除き、縦半分にし、格子状の切れ目を浅く入れる。
- ② フライパンに油を熱し、なすを入れて蓋をする。
3分ほど揚げ焼きにした後、裏返し、裏面も加熱する。
- ③ 鍋に鶏ひき肉と酒、水を入れ、中火にかけながらよく混ぜる。
みそと砂糖を加え、肉に火が通るまで練り混ぜる。
- ④ 器に②を盛り、③をのせ、黒ごまをふる。

★肉味噌はレタスで巻いたり、サラダやご飯、豆腐にかけてもgood！

【1日3食 まず野菜！】

香川県「おてがる野菜料理レシピ」を御紹介！

～2020年3月発行～